

外郭団体評価調書【公益・一般法人用】

1. 基本情報

令和5年7月1日 現在

団体名	公益財団法人 新潟市芸術文化振興財団		
所在地	新潟市中央区西堀前通六番町894番地1		
代表者(職・氏名) (所属・職)	理事長 徳永 健一	電話番号	025-378-4500 内線35330
	公益財団法人 新潟市芸術文化振興財団	ホームページ	http://www.mmjp.or.jp/nc-acpf/
市所管課	文化スポーツ部 文化政策課	電子メール	zaidansoumuka@niigata.email.ne.jp
基本財産 (基本金)	900,000 千円	設立年月日	平成3年7月6日 (平成24年4月1日公益財団法人へ移行)
出資者	氏名・団体等名称	出資等額	出資等比率
	新潟市	900,000 千円	100.0 %
		千円	%
		千円	%
		千円	%
		千円	%
設立目的	新潟市民の芸術文化及び歴史文化の振興を図り、もって自主的自発的な市民文化の創造に寄与することを目的とする。(定款第3条より)		
経営理念 経営方針	上記の目的を達成するため次の事業を行う。 (1) 文化的な環境の充実及び文化活動の活性化事業 (2) 芸術文化の創造・発信、振興及び普及 (3) 歴史文化の振興及び情報収集・提供並びに調査研究 (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (定款第4条より)		

2. 主要事業

事業名①	事務局文化事業（公1）							
事業概要	(概要) 新潟市出身作家の顕彰、文化事業の共催・後援・助成などの実施のほか、アーツカウンシル新潟による文化団体等への支援・助成事業や情報の収集・発信、企画提案等の多様な事業の実施により、新潟市の文化的な基盤の充実、各分野の文化活動の活性化を目的として事業を実施し、市民の自主的な文化活動を支援する。 (市政へどのように寄与・貢献するのか) 多様な支援・助成・情報提供などの実施により、文化的基盤の充実や文化活動の活性化を目指し、自主的自発的な市民文化の創造に寄与する。							
	事業区分	主体区分	収支区分	単位	予算・決算	令和2年度	令和3年度	令和4年度
公益事業	自主事業	支出額	千円	予算	69,294	55,569	55,255	51,223
				決算	61,270	53,335	57,076	-
活動指標①		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
助成金交付件数 (活動+基盤+ステップアップ)	R5	件		17	-			
	R4	件		12	6	申請12件、審査会を開催して交付決定		
	R3	件		13	7	申請15件、審査会を開催して交付決定		
	R2	件		9	8	申請12件、審査会を開催して交付決定		
活動指標②		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
	R5							
	R4							
	R3							
	R2							
活動指標③		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
	R5							
	R4							
	R3							
	R2							

所管課の関わり及び主要事業にかかる評価	財団と定期的な情報共有や意見交換を行うなど、所管課として適切な意見を伝えている。アーツカウンシル新潟の助成事業については、活動指標の実績が計画を下回る状況が続いているため、改善を図りながら、引き続き事業の目的に向けて努めることを期待する。
---------------------	---

2. 主要事業

事業名②		市民芸術文化会館・音楽文化会館事業・県民会館事業（公2）						
事業概要	<p>(概要)</p> <p>市民芸術文化会館の三つの専門ホールや音楽文化会館・県民会館の諸施設を活用した、音楽・演劇・能楽などの鑑賞系・普及系・育成系事業や新潟発創造事業等の文化事業を行うほか、コンサートホール・劇場・能楽堂・ギャラリー・スタジオ・練習室等の管理運営及び貸館事業（公益目的に合致するもの）を行う。</p>							
	<p>(市政へどのように寄与・貢献するのか)</p> <p>1. 新潟から全国へ 世界へ発信 りゅーとびあ発の先進的、実験的な舞踊・演劇作品を創造、国内外へ発信し、鑑賞機会を増やすとともに、新潟のひいては日本の存在感を高める 【創造】 【発展】 【社会貢献】</p> <p>2. 芸術文化を通じて「生きる力」を育む 市民の文化活動を支援し、文化を支える人材を育成するとともに文化を通じて地域のコミュニティを創造・再生し、「より良く生きる社会」を作る 【継承】 【社会貢献】</p> <p>3. 新潟の文化を次世代へ継承し、市民の誇りにつなげる 「在来と外来」「伝統と革新」を融合させることができる新潟の“みなとまち気質”で、これまで育てた文化を次世代へ、そしてシビックプライドへ 【継承】 【発展】 【社会貢献】 また、音楽文化会館では、音楽や芸能に親しむ市民の練習、発表の場を提供することで、市民の芸術文化活動の裾野拡大に寄与する。</p>							
事業区分	主体区分	収支区分	単位	予算・決算	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
公益事業	自主事業	支出額	千円	予算	1,433,405	1,379,462	1,401,547	1,411,266
				決算	1,135,763	1,238,142	1,450,414	-
活動指標①	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
市民芸術文化会館利用者数（全体）	R5	人	347,000	-				
	R4	人	347,000	245,316	市民（観客）マインド（来場控え）はコロナ禍から脱却しておらず、目標を下回った。			
	R3	人	347,000	194,555	前年度に引き続き新型コロナウイルスの影響で利用中止・取消等により目標を達成できなかった。			
	R2	人	347,000	127,581	新型コロナウイルス感染拡大による施設利用敬遠・中止が相次ぎ、目標を達成できなかった。			
活動指標②	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
市民芸術文化会館文化事業（自主文化事業）年間鑑賞者数	R5	人	100,000	-				
	R4	人	100,000	84,890	市民（観客）マインド（来場控え）はコロナ禍から脱却しておらず、目標を下回った。			
	R3	人	100,000	57,753	新型コロナウイルス感染拡大の影響が残る中で、従来の鑑賞者を取り戻すことができなかった。			
	R2	人	100,000	34,790	新型コロナウイルス感染拡大による中止が相次いだことに加え、実施の場合も観客マインドを考慮しキャパ1/2としたため、目標を達成できなかった。			
活動指標③	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
文化事業自主財源比率	R5	%	67.0					
	R4	%	67.0	72.4	自主財源確保に努め目標を達成した。			
	R3	%	67.0	69.1	自主財源確保に努め目標を達成した。			
	R2	%	67.0	46.4	新型コロナウイルス感染拡大による観客マインドを考慮しキャパ1/2で実施したため、目標を達成できなかった。			

活動指標④	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
音楽文化会館 入場者数	R5	人	168,000	-	
	R4	人	168,000	109,802	新型コロナウイルスの影響で人数抑制などにより目標を達成できなかった。
	R3	人	168,000	69,049	新型コロナウイルスの影響で利用の取消や人数抑制などにより目標を達成できなかった。
	R2	人	168,000	57,694	新型コロナウイルスの影響で利用の取消や延期などにより目標を達成できなかった。
活動指標⑤	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
コンサートホール 稼働率	R5	%	86.0	-	
	R4	%	86.0	89.5	前年度までの新型コロナウイルス感染拡大による施設利用敬遠・中止から回復した。
	R3	%	86.0	78.7	前年度に引き続き新型コロナウイルスの影響で利用中止・取消等により目標を達成できなかった。
	R2	%	86.0	56.7	新型コロナウイルス感染拡大による施設利用敬遠・中止が相次ぎ、目標を達成できなかった。
活動指標⑥	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
劇場稼働率	R5	%	80.0	-	
	R4	%	80.0	78.5	前年度までの新型コロナウイルス感染拡大による施設利用敬遠・中止からほぼ回復した。
	R3	%	80.0	68.6	前年度に引き続き新型コロナウイルスの影響で利用中止・取消等により目標を達成できなかった。
	R2	%	80.0	55.8	新型コロナウイルス感染拡大による施設利用敬遠・中止が相次ぎ、目標を達成できなかった。
活動指標⑦	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
能楽堂稼働率	R5	%	39.0	-	
	R4	%	39.0	34.7	前年度に引き続き新型コロナウイルスの影響で利用中止・取消等により目標を達成できなかった。
	R3	%	39.0	35.0	前年度に引き続き新型コロナウイルスの影響で利用中止・取消等により目標を達成できなかった。
	R2	%	39.0	27.2	新型コロナウイルス感染拡大による施設利用敬遠・中止が相次ぎ、目標を達成できなかった。

活動指標⑧	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
音楽文化会館 ホール利用率	R5	%	70.0	-	
	R4	%	70.0	76.5	前年度までの新型コロナウイルス感染拡大による施設利用敬遠・中止から回復した。
	R3	%	70.0	62.8	新型コロナウイルスの影響で利用の取消や延期により目標を達成できなかった。
	R2	%	70.0	50.7	新型コロナウイルスの影響で利用の取消や延期により目標を達成できなかった。

所管課の関わり及び 主要事業にかかる評価	文化事業にかかる補助金を交付したほか、公演情報を市公式LINEで配信するなど、情報発信にかかる協力を行った。新型コロナウイルスの影響による施設利用の敬遠等から、達成できなかった指標が多いものの、多くの指標で令和3年度より実績が増加しており、今後の目標達成に期待する。
-------------------------	---

2. 主要事業

事業名③		歴史博物館等・旧小澤家住宅事業（公3）						
事業概要	<p>（概要） 歴史博物館、旧新潟税関庁舎等、及び旧小澤家住宅において、新潟市域の歴史文化に関する調査・研究や資料収集・保存、企画展や体験プログラム、各種講座、施設普及事業を開催・実施するほか、施設の管理運営及び貸室事業（公益目的に合致するもの）を行う。</p>							
	<p>（市政へどのように寄与・貢献するのか） 上記事業を実施することにより、新潟市の歴史を明らかにし、市民の視点に立って情報を伝えることで地域アイデンティティの形成に寄与するとともに、個性を生かしたまちづくりや新潟市の魅力を発信し、交流人口の拡大に貢献する。</p>							
事業区分	主体区分	収支区分	単位	予算・決算	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
公益事業	自主事業	支出額	千円	予算	172,912	159,562	161,159	165,358
				決算	167,495	164,106	164,358	-
活動指標①		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
歴史博物館事業（企画展、講座等）実施件数	R5	件	109	-				
	R4	件	108	136	コロナ禍で一部制限した事業もあったが、事業内容については感染禍前の内容と回数に戻った。			
	R3	件	113	108	新型コロナウイルスの影響で体験プログラム等を中止したため達成できなかった。			
	R2	件	121	104	新型コロナウイルスの影響で実施できなかった講座もあり達成できなかった。			
活動指標②		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
旧小澤家住宅事業（企画展、講座等）実施件数	R5	件	15	-				
	R4	件	15	32	企画展12本や体験プログラム13回などほぼ例年並みの事業を開催できた。			
	R3	件	15	36	コロナ感染症のため中止した事業もあったが、代替事業を行う等して前年度並みの数を実施した。			
	R2	件	30	38	中止となった事業もあったが、感染症拡大予防に対応できる新たな事業を企画するなどした。			
活動指標③		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
歴史博物館等入館者数	R5	人	77,000	-				
	R4	人	70,000	87,097	3月に新潟県の新型コロナまん延防止等重点措置が解除後から徐々に来館者が増加し、団体利用、学校利用ともにほぼ通常の状態に回復した。			
	R3	人	70,000	63,162	新型コロナウイルスによる臨時休館や、感染拡大防止のため制限や中止をした事業もあったため達成できなかった。			
	R2	人	79,000	61,151	新型コロナウイルスの影響で臨時休館（4/21～5/10）もあり、SNS等情報発信に努めたものの達成できなかった。			

活動指標④	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
旧小澤家住宅 入館者数	R5	人	14,000	-	
	R4	人	12,000	13,400	新型コロナの感染状況が落ち着いた時期もあり、観覧者が徐々に戻ってきた。
	R3	人	12,000	10,896	新型コロナ感染症による外出自粛の気運が長引き、観覧者数がコロナ禍以前のレベルまで回復しなかった。
	R2	人	14,000	11,544	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、観覧者数が激減した。

所管課の関わり及び 主要事業にかかる評価	<p>広報物配布や市公式LINE掲載など、情報発信にかかる協力を行った。</p> <p>令和4年度の入館者数は計画を上回る実績となっており、創意工夫を凝らした館独自の集客対策も増加の要因と思われる。今後も幅広い集客対策を実施することを期待する。</p> <p>今後も感染防止対策を行いながら、市民文化の向上及び地域の活性化に貢献してほしい。</p>
-------------------------	--

3. 組織等の状況

(1) 役職員数の状況

令和5年7月1日 現在 (単位:人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
役員数	12	13	13	13
常勤	3	3	3	3
市派遣				
市職員OB	3	3	3	3
プロパー役員				
他団体からの派遣				
非常勤	9	10	10	10
市兼任	2	2	2	2
市職員OB	1	2	1	1
他団体兼任	6	6	7	7
その他				
職員数	113	108	108	104
常勤	48	48	50	48
市派遣	1	1	1	1
市職員OB				
プロパー職員	47	47	49	47
他団体からの派遣				
非常勤	65	60	58	56
市兼任	11	8	7	7
市職員OB	5	5	5	5
他団体兼任				
その他臨時・嘱託等	49	47	46	44
見直し等の取組み				令和6年度から15年度の10年間にかかる適正人員管理計画を策定中である。

(2) 職員の状況 (市派遣職員を除く。)

*市兼任も除く

令和5年7月1日

(単位:人)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
職員の状況	管理職	1	1	1	1
	一般職	100	98	99	95
	合計	101	99	100	96
年齢構成	20代以下	9	7	12	6
	30代	23	24	20	17
	40代	42	38	38	37
	50代	16	21	22	28
	60代以上	11	9	8	8
	合計	101	99	100	96

(3) 役員報酬・職員給与等の状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(予算)
報酬・給与等	432,199	432,938	443,208	451,979
内 市職員分	1,363	1,580	1,337	1,698
役員	17,559	17,120	16,051	17,357
常勤	13,533	12,233	12,273	12,303
内 市職員分				
非常勤	4,026	4,887	3,778	5,054
内 市職員分				
職員	414,640	415,818	427,157	434,622
常勤	269,081	276,980	281,802	286,898
内 市職員分	1,363	1,580	1,337	1,698
非常勤	145,559	138,838	145,355	147,724
内 市職員分				
平均年収(市職員を除く。)				
常勤役員	4,511	4,078	4,091	4,101
常勤職員	5,464	5,738	5,718	5,942
見直し等の取り組み	・市に準じて55歳昇給抑制を継続実施	・市に準じて55歳昇給抑制を継続実施	・市に準じて55歳昇給抑制を継続実施	・市に準じて55歳昇給抑制を継続実施

(4) 給与等の適正化の状況(市派遣職員を除く。)

現在の給与体系		今後の見直し予定	
	団体独自の給与体系		有 予定時期 年度～
●	市の給与体系を準用	●	無
	その他〔 〕		その他〔 〕

4. 財務の状況

(1) 正味財産増減計算書

(決算 単位：千円)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
一般正味財産増減の部	経常収益	1,678,086	1,634,796	1,882,561
	基本財産運用益	11,199	11,198	11,198
	特定資産運用益	691	690	690
	受取会費			
	事業収益	1,368,260	1,347,840	1,413,079
	自主事業収益	122,830	198,945	291,380
	受託事業収益	1,245,430	1,148,895	1,121,699
	受取補助金等・負担金	297,850	274,916	457,526
	その他経常収益	86	152	68
	経常費用	1,625,885	1,649,677	1,947,568
	事業費	1,585,567	1,609,658	1,902,985
	公益目的事業費	1,364,528	1,455,583	1,671,849
	収益目的事業費	221,039	154,075	231,136
	(自主事業費)			
	(受託事業費)			
	法人会計			
	管理費	40,318	40,019	44,583
	評価損益等調整前当期経常増減額	52,201	▲ 14,881	▲ 65,007
	評価損益等	0	0	0
	基本財産評価損益等			
特定資産評価損益等				
投資有価証券評価損益等				
当期経常増減額	52,201	▲ 14,881	▲ 65,007	
経常外収益				
経常外費用	63			
当期経常外増減額	▲ 63	0	0	
当期一般正味財産増減額	52,138	▲ 14,881	▲ 65,007	
一般正味財産期首残高	207,500	259,638	244,757	
一般正味財産期末残高	259,638	244,757	179,749	
指定正味財産増減の部	受取補助金等・負担金	2,162	2,000	2,032
	その他(基本財産運用益)	11,463	11,462	11,462
	基本財産評価損益			
	特定財産評価損益			
	一般正味財産への振替額	▲ 12,822	▲ 12,382	▲ 11,923
	当期指定正味財産増減額	803	1,080	1,571
	指定正味財産期首残高	903,640	904,443	905,523
指定正味財産期末残高	904,443	905,523	907,094	
基金増減の部	基金受入額			
	基金返還額			
	当期基金増減額	0	0	0
	基金期首残高			
基金期末残高	0	0	0	
正味財産期末残高	1,164,081	1,150,280	1,086,843	

(参考)

(決算 単位：千円)

(別掲)人件費	525,570	525,570	540,701
役員分	18,995	18,995	17,915
職員分	506,575	506,575	522,786

(2) 貸借対照表

(決算 単位：千円)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
資産の部	資産の部合計	1,683,458	1,688,586	1,638,913
	流動資産	344,826	335,047	304,172
	現金預金	262,545	242,903	185,047
	未収金	64,022	73,378	100,440
	有価証券			
	その他流動資産	18,259	18,766	18,685
	固定資産	1,338,632	1,353,539	1,334,741
	基本財産	902,189	902,453	902,717
	特定資産	428,112	441,825	424,759
	その他固定資産	8,331	9,261	7,265
	有形固定資産	1,818	1,307	975
	無形固定資産	6,513	7,954	6,290
	その他投資等			
負債の部	負債の部合計	519,377	538,306	552,070
	流動負債	328,027	323,452	310,531
	短期借入金			
	その他流動負債	328,027	323,452	310,531
	固定負債	191,350	214,854	241,539
長期借入金				
その他固定負債	191,350	214,854	241,539	
正味財産の部	正味財産の部合計	1,164,081	1,150,280	1,086,843
	基金	0	0	0
	(基本財産充当額)			
	(特定資産充当額)			
	指定正味財産	904,443	905,523	907,094
	うち補助金			
	(基本財産充当額)	903,814	904,079	904,343
	(特定資産充当額)	629	1,444	1,777
	一般正味財産	259,638	244,757	179,749
	代替基金			
その他一般正味財産	259,638	244,757	179,749	
(基本財産充当額)				
(特定資産充当額)	236,644	226,596	154,692	
負債の部及び正味財産の部合計	1,683,458	1,688,586	1,638,913	

(3) 市財政支出等の状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
市財政支出等の合計	1,355,305	1,243,026	1,282,994
補助金	234,699	190,265	358,096
事業費補助金	200,613	128,358	296,163
運営費補助金	34,086	61,907	61,933
設備投資に係る補助金			
負担金			
交付金			
委託料	1,120,606	1,052,761	924,898
指定管理料（公募）			
指定管理料（非公募）	1,071,737	1,050,584	924,898
業務委託（随意契約）	48,869	2,177	
業務委託（その他）			
貸付金（期中借入額）			
出資・出捐金（追加額）			
その他			
貸付金残高			
損失補償契約に係る債務残高			
損失補償限度額			
債務保証に係る債務残高			
その他財政援助の状況 (税や使用料の減免、建物の無償貸与等)	会場使用料の減免（主催事業開催時） 施設備品の貸与	会場使用料の減免（主催事業開催時） 施設備品の貸与	会場使用料の減免（主催事業開催時） 施設備品の貸与

(市財政支出等がある場合) 目的、内容、必要性、増減理由等

当財団の設立目的に沿った文化事業を行うための財源として、また、指定管理事業を適切に遂行するための指定管理料として、市からの財政支出は必要不可欠である。

(4) 遊休財産の状況

(単位：千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
純資産	1,164,081	1,150,280	1,086,843
公益目的保有財産	▲ 263,065	▲ 262,519	▲ 262,024
公益目的事業を行う為に必要な収益事業等その他の業務又は活動の用に供する財産	▲ 747,455	▲ 745,695	▲ 722,958
特定の財産の取得又は改良に充てるために保有する資金	▲	▲	▲
合理的に算出された必要限度額以内の特定費用準備資金	▲ 137,094	▲ 131,362	▲ 109,162
拠出者の意思に従って、使用・保有されている財産	▲ 178	▲	▲ 796
遊休財産額	16,289	10,704	(8,097)

5. 経営改善状況（評価指標）

※ 評価基準に満たない場合は、網掛けセルに太字斜字体が表示されます。

（1）財務の健全性

指標		令和2年度	令和3年度	令和4年度
経常損益	当期経常増減額	52,201 千円	▲ 14,881 千円	▲ 65,007 千円
自己資本比率	純資産	69.1 %	68.1 %	66.3 %
	純資産＋負債			
流動比率	流動資産	105.1 %	103.6 %	98.0 %
	流動負債			
固定長期適合率	固定資産	98.8 %	99.2 %	100.5 %
	固定負債＋純資産			
借入金依存度	借入金	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	資産の部合計			
剰余金（欠損金）	純資産 －資本金（基本金）	264,081 千円	250,280 千円	186,843 千円
公益目的事業比率	公益目的事業費	83.9 %	88.2 %	85.8 %
	公益・収益目的事業費＋管理費			
遊休財産水準	公益目的事業費	83.77	135.98	206
	遊休財産額			
資金運用	基本財産としての 有価証券の保有	● 有	① 運用方針を明文化し、それに従って運用している。 ② 資金運用利率は市場金利の水準を確保している。 ③ 資金運用に関する情報収集に努めている。 ④ 元本割れのリスクはない。	○
		○		○
	○	○		
	○	○		

（2）団体の自立性

指標		令和2年度	令和3年度	令和4年度
市職員比率	常勤職員数（市職員）	2.1 %	2.1 %	2.0 %
	常勤職員数			
財政的依存度	市財政支出	80.8 %	76.0 %	68.2 %
	経常収益＋経常外収益			
運営費補助比率	市運営費補助金	2.0 %	3.8 %	3.3 %
	経常収益			
随意契約比率	市随意契約額	100.0 %	100.0 %	100.0 %
	市委託料			

（3）経営の効率性

指標		令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員1人当たり売上高	事業収益	12,108 千円	12,480 千円	13,084 千円
	職員数			
職員1人当たり経常利益	事業活動収支差額	462 千円	▲ 138 千円	▲ 602 千円
	職員数			
管理費比率	管理費	2.5 %	2.4 %	2.3 %
	経常費用			
職員1人当たり管理費	管理費	357 千円	371 千円	413 千円
	職員数			
人件費比率	人件費	31.3 %	32.1 %	28.7 %
	経常収益			
役員人件費比率	役員人件費	3.6 %	3.6 %	3.3 %
	人件費			

(4) 経営の適正性

① 中長期計画の策定状況			
●	有	計画名称 事業計画書(芸術文化会館・音楽文化会館)、 同上(歴博・旧税関等及び旧小澤家)、 財団経営方針、 ACN中長期計画	計画期間 平成31年度～令和5年度 令和3年度～令和7年度 平成29年度～令和7年度 令和7年度～令和11年度
概要・数値目標 芸術・歴史文化の振興という目的を達成するための主要な事業としては、市から指定管理を受託して行っている各文化施設の維持管理と文化事業の実施がその根幹をなしており、指定管理期間(5年間)を計画期間として、「主要事業」欄に掲げているホール等の利用率、施設入館者数等を数値目標として事業計画を策定している。 財団経営方針については、平成29年3月に策定した「財団経営方針―財団が目指すべき組織像」を令和5年度まで延長適用し、次期経営方針については市が策定中の次期新潟市文化創造交流都市ビジョンの内容との整合性を図りながら定める。 また平成28年度設立の「アーツカウンシル新潟」においては、中長期計画(H28～R3)終了に伴い再策定が必要だが、新潟市の文化ビジョンがH29～R5まで延長されたことおよび新たな文化ビジョンがR6から実施されることをふまえ、アーツカウンシル新潟中長期計画の計画期間を令和7年からの5年間として策定する。			
	無	未策定理由	

② 経理の適正化の取組み			
専門家による監事・監査役就任		専門家による会計指導	
●	有	就任時期 平成30年度～ 依頼先職種 [中小企業診断士]	● 有 依頼時期 平成7年度～ 依頼先職種 [税理士]
	無		無

③ 事務処理改善の取組み		
●	有	<ul style="list-style-type: none"> 市民芸術文化会館と音楽文化会館、県民会館の一体的管理を目的に、保守契約の一元化(H18～、県民会館はH29～) 設備運転及び警備業務を統合したうえで複数年契約(H19～)を実施 事務の効率化と公益法人会計基準への対応のため、既存の財務システムを見直し、新しい財務システムの導入(R2～)
	無	<ul style="list-style-type: none"> 法人としての機能強化と一体感を高めるため、専務理事を配置し、従来の連絡調整会議に加え、施設長会議(R2～)や庶務担当者会議(R1～)を開催し、情報の共有と課題の検討を進めている。 人事管理の一元化による事務効率化のため、人事管理システムを導入(R4～) インボイス制度施行に備え、適正な会計処理を行うため、顧問税理士による各施設への月次巡回監査を実施。(R4～)

④ 人材育成の取組み		
●	有	各々の業務分野での専門研修に随時職員を派遣したほか、職員全体を対象とした財団主催の研修を年度毎のスケジュールにより実施。また階層別の組織マネジメント力にかかる研修を実施。新型コロナ感染拡大後は、eラーニング方式のオンライン研修を中心に実施。 ・契約関係研修(H21～)・接遇研修(H23～)・情報セキュリティ研修(H23～) ・庶務研修(H27県民会館職員向け H27マイナンバー対応等) ・コンプライアンス研修 ・組織マネジメント研修:課長職(H28～H30)課長代理主査職(H28～H29)中級職員(H30～R1)初級職員(R1) ・新規採用職員研修(R2～) ・コンプライアンス研修(R2)、ハラスメント研修(R2)、情報セキュリティ研修(R3) ・管理者向けハラスメント防止・対応研修(R4)、全職員階層別ハラスメント防止研修(R4)、インボイス制度研修(R4)、法務・契約事務研修(R4)
	無	

⑤ 情報公開に関する規定の整備状況			
●	有	策定時期 平成12年度～ 規定名称 [公益財団法人新潟市芸術文化振興財団情報公開規程]	団体ホームページ掲載 ● 定款等 平成17年度～ ● 事業内容 平成17年度～ ● 役員名簿 平成17年度～ ● 役員報酬 平成17年度～ ● 事業報告 平成17年度～ ● 正味財産増減計算書 平成17年度～ ● 貸借対照表 平成17年度～ ● 事業計画書 平成17年度～ ● 予算概要 平成17年度～
	無	未整備理由	

改善対応区分 A:改善対応済(引き続き継続して実施するものも含む) B:改善の取組の効果が始めている C:改善の取組に着手 D:改善の取組に向けて検討中 E:今は実施せず今後の課題とする
--

6. 経営改善状況（個別の取組み）

(1) 前年度までの評価における【改善指示事項】の改善状況

改善指示事項		経費削減に向けた取組みは、管理施設ごとに取り組む場合であっても、最終的には法人全体の削減目標を設定した上で取り組む必要がある。					
改善のために取り組んだ内容		国の働き方改革に対応して、機会あるごとに意識改革を促すとともに、一部職場で業務実態に合わせた1カ月単位の変形労働時間制を導入した。(R2.4) 光熱費の節減については、電気料金の高騰を踏まえ、不要不急時の消灯などを徹底した。					
取組みによる成果		職員には、ワークライフバランスの重要性と超過勤務削減の意識が浸透してきた。経費削減の意識は予算削減もあり、徹底されてきている。					
改善・対応区分		A	B	C	D	● E	
改善に向けた取組み 評価指標	実施事項	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	計画	前年度比減		前年度比減		前年度比減	
		実績		7.0%増		9.9%増	
	超過勤務時間の削減	進捗状況	【令和4年度までの達成状況及び今後の見込み】 近年の傾向としては漸減となっている。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大による事業中止等が多く、減少幅も大きかったが、令和3年度に続いて令和4年度も事業が再開したことにより、前年度よりも増加した。(ただし、令和元年度比較では12.2%減となっている。)				
		今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 職員の健康管理や働き方改革に対する社会的な要請を受けて、今後も超過勤務の縮減に努める必要がある。				
		課題への対応	【今後の課題への対応】 働き方改革に対する取組みを通じて意識改革を継続的に進めるとともに、事業の実施方法の見直しと改善を行う。				
		計画	前年度比減	前年度比減	前年度比減	前年度比減	
	光熱費の削減	実績	11.4%増		66.6%増		
		進捗状況	【令和4年度までの達成状況及び今後の見込み】 傾向としては、横ばい又は漸減で推移してきたところ、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大による事業中止や休館などにより大幅に減少したが、令和3年度以降は事業再開等で施設利用の回復が進んだ。加えて令和4年度は電気料金等の高騰の影響で、前年度比で大幅に増加した。(令和元年度比較でも29.6%増となっている。)				
		今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 光熱費の削減は、資源環境面からも社会的な要請ではあるが、電気料金の値上がりなども発生しており、これ以上の削減には、より厳しい取組みが必要となる。				
課題への対応		【今後の課題への対応】 不要不急の使用の削減はもとより、厳しい財政状況による予算削減や電気料金等の高騰は続いており、さらに削減を進めるためには、開館時間や開館日の縮小なども視野に入れなければならないものと考えている。					

改善指示事項		アーツカウンシル事業について、成果指標を明確にし、評価、改善を重ねていくことが必要である。					
改善のために取り組んだ内容		アーツカウンシル事業に対する『成果検証』として、「短期」「中期」「長期」の成果目標と成果指標（定性・定量）に基づき、成果検証を年度末に実施し、部内で共有した。					
取り組みによる成果		アーツカウンシル事業及び部組織全体の中長期的な目標イメージを共有することにより、日々の業務の意義付けを各スタッフがすることができ、効率化につながった。					
改善・対応区分		A	B	C	●	D	E
改善に向けた取り組み	評価指標 成果指標の検討、設定（10項目程度）	実施事項		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		計画	成果指標の検討	成果指標の決定及び公表	成果指標の評価	新たな成果指標の検討	
		実績	検討の実施	検討の継続			
		進捗状況	【令和4年度までの達成状況及び今後の見込み】 『成果検証』の実施・共有を行い、PDCAサイクルの実践を継続的に実施している。月1回の部内ミーティングにおいて、成果目標を意識した進捗確認を実施している。なお、令和3年度に実施していた『中長期計画』の検討・作成は、新潟市の新たな文化ビジョン策定状況および内容と整合性をとる必要があることから、令和7年度の完成をめざすこととする。				
		今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 令和4年度に実施した『成果検証』は、設立時に設定し、令和3年度まで使用していたものを活用した。令和6年度に公表・実施される新潟市の新しい文化ビジョンをふまえて成果目標を見直し、設定する必要がある。				
		課題への対応	【今後の課題への対応】 令和6年度に公表・実施される新潟市の文化ビジョンをもとに、アーツカウンシル新潟の『中長期計画』をスタッフ全員で令和7年の作成・完成をめざす。令和3年度と同様、全員が関与することにより、目標の共有を図る。				

改善指示事項		正味財産増減額が大きくプラスになっているため、市からの委託料などの見直しを検討するなど、団体が保有する財産は適正な範囲とする必要がある。					
改善のために取り組んだ内容		特定の事業費に充当するための特定費用準備資金を活用した事業実施により、正味財産の減額を図る。					
取り組みによる成果		令和4年度の一般正味財産期末残高は、前年度よりも減少した。					
改善・対応区分		A	B	●	C	D	E
改善に向けた取り組み	評価指標 一般正味財産期末残高の対前年度比	実施事項		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		計画	90%	90%	90%	90%	
		実績	244,756,728円(94.3%)	179,749,430円(73.4%)			
		進捗状況	【令和4年度までの達成状況及び今後の見込み】 経常費用光熱水費の財源不足に対する特定費用準備資金の活用、りゅーとびあ文化事業費の財源不足に対する文化振興基金の取り崩しにより、正味財産期末残高が減少した。令和6年度までの目標をほぼ達成している。				
		今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 引き続き「財団が保有する財産の適正な範囲」の考え方を明確にしていく必要がある。				
		課題への対応	【今後の課題への対応】 財団が保有する財産の適正な範囲について、市と検討していく。				

<p>改善対応区分</p> <p>A: 改善対応済(引き続き継続して実施するものも含む)</p> <p>B: 改善の取組の効果が始まっている</p> <p>C: 改善の取組に着手</p> <p>D: 改善の取組に向けて検討中</p> <p>E: 今は実施せず今後の課題とする</p>

(2) 【その他改善を要する事項】の改善状況

今後改善を要する事項		同一労働同一賃金への対応 国で働き方改革が進められ、同一労働同一賃金の考え方を基本に、正規職員と非正規職員の不合理な格差をなくす対応が求められている。市に準じた制度となっている当財団においても、各種手当や福利厚生における状況を踏まえ、制度改正や予算措置が必要となっている。				
改善のために取り組んだ内容		各種手当や福利厚生における正規職員と非正規職員の実情を調査し、制度改正等を検討した。				
取り組みによる成果		規則改正を行い、不合理な格差についての是正を進めた。				
改善・対応区分		A	B	● C	D	E
改善に向けた取り組み 評価指標	実施事項	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	計画	2件	2件	2件	2件	
		実績	2件	1件		
	進捗状況	【令和4年度までの達成状況及び今後の見込み】 令和4年4月から、臨時職員への療養休暇の付与が行えるよう規則改正を行った。 また、令和5年4月からは、勤続年数が長期にわたる嘱託及び臨時職員に対し正規職員に準じて「リフレッシュ休暇」を付与すること、育児・介護休業等の請求を事業主が拒むことができる規定を正規・非正規に関わらず削除すること、について規則改正済み。(R5実績に計上)				
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 財政状況が厳しく、予算措置が必要な制度改正を行うための財源確保が難しい状況である。また、財団は民間組織であり、市に準じた制度の内容が同一労働同一賃金の考え方と合わない場合がある。				
	課題への対応	【今後の課題への対応】 社会保険労務士等に確認を行いながら、同一労働同一賃金の考え方から必要とされる制度改正については、財源確保の方法をさらに検討していく。福利厚生については、引き続き調査検討のうえ、規則等の改正を行う。				

7. 評価の結果

【団体の評価コメント】

財務の健全性	<ul style="list-style-type: none"> ・より適正な会計処理を行うため、令和4年度から顧問税理士による各施設への月次巡回監査を実施している。 ・公益法人としての認定基準である財務三原則は基本的に高いレベルで維持しており健全性は確保されているが、事務局運営費や事業費など財源不足から基本財産の活用を求められており、今後もさらに事務事業の見直しに努めたい。
団体の自立性	<p>市からの派遣職員は1名、一部職免職員が4名。管理職は市OBが多く、財団職員中心の運営が求められる中、管理職への財団職員の登用を進めるなど、引き続き職員の職務能力の向上に努め、自立性を高めていきたい。</p>
経営の効率性・適正性	<ul style="list-style-type: none"> ・厳しい財政状況と限られた予算の中で、指定管理施設の適正な管理運営を行うため、業務の効率化を進め、可能な範囲で経費の節減に努めている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・アーツカウシル新潟の活動を通して、社会の変化に応じた市民の文化芸術活動の多様な支援を行っている。 ・組織運営体制としては、専務理事を配置し、施設長会議や連絡調整会議、庶務担当者会議などにより財団全体の課題の検討や情報の共有し、事業を進めている。 ・持続可能な組織運営のため、令和6年度～15年度の10年間にかかる適正人員管理計画を策定中である。

【新たに改善を要する事項】 ※「6. 経営改善状況」に記載のもの以外で改善を要する事項を記載

今後改善を要する事項					
評価指標	実施事項	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	計画				
	実績				
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】			
	課題への対応	【今後の課題への対応】			

【団体による総括的な評価】

<p>新潟市の100%出資の公益法人として、公の施設の指定管理をはじめ公益目的に沿った事業活動を展開しながら、当財団の設立目的である芸術文化の振興と市民の自発的な文化活動の推進に取り組んでいる。今後も市と連携を図りながら事業展開を行っていききたい。</p>
--

【所管課による評価】

<p>公益法人として、各施設の管理や文化事業の実施等を担い、レジデンシャル制度の運営など、市との連携についても概ね良好であると判断する。多様な分野による質の高い創造的な芸術文化事業を提供し、合わせて普及と育成にも努めているほか、アーツカウシルの設置による市民の文化活動の活性化への取り組みなどが評価でき、設立目的は達成していると考え。経営状況についても概ね良好と判断するが、引き続き、事務事業の見直し、適切な人員配置に努めるよう求める。</p>
--